

早川 公二 議員 無会派



問 公共交通の現状と課題は

答 移動困難者への対応が必要

問 きんちゃんバスの利用状況は。

答 (市民生活部長) 令和元年から2年にかけてコロナの影響で大きく減少したが、令和3年以降回復傾向で、令和5年度の利用者は延べ約8万人。

問 公共交通に関してどのような意見や要望があるか。

答 車体が大きすぎる、乗車時間が長い、便数が少ないなど。

問 公共交通に対する課題はどのようなものがあるか。

答 バス停から離れている人や公共交通空白地に住んでいる人、移動手段を持たない高齢者等の移動困難者の需要に対応する必要がある。

問 地域説明会、意見交換会の趣旨と目的は。

答 公共交通の現状と課題の把握や、新しい移動手段の周知。

問 公共交通の充実を

答 デマンド型交通の社会実験検証

問 計画している社会実験の概要は。

答 (市民生活部長) 北部・東部ルートエリアを一体的に捉え、デマンド型交通の車両を2台導入し、北部ルートの一部と東部ルートのきんちゃんバスを運休し実験する。

問 運行曜日は。

答 月曜日から土曜日。

問 運行時間は。

答 8時から17時もしくは18時まで。

問 利用料金は。

答 一般料金は200円もしくは300円。
小中高生と75歳以上をその半額と想定。

問 利用できる人は。

答 年齢制限の予定はない。

問 大藤・栄南地区での説明会ではどのような再編案を説明しているか。

答 利用者が少ない栄南地域のルートを廃止し、交通結節点まで予約制のエリアタクシー等の移動手段を導入する案など、4つの再編案を提案した。

問 今後、公共交通の充実、交通弱者対策はどのように考えているか。

答 きんちゃんバスの乗車実績を研究し、バス路線も一部残しつつ、公共交通の充実を図る。



▲デマンド型交通車両